

(3-4)

超音波画像診断装置

仕様書

平成31年2月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

I 概要

1 調達物品名及び構成内訳

(1) 調達物品

超音波画像診断装置	一式
-----------	----

(2) 構成内訳

- | | |
|---------------------|-----|
| ① 超音波画像診断装置本体 | 1 台 |
| (機能及び性能は仕様要件を満たすこと) | |
| ② 電子リニア探触子 | 1 本 |
| ③ 電子リニア探触子 | 1 本 |
| ④ 白黒プリンタ | 1 台 |

但し、上記機器の搬入、取付、調整を含む。

2 技術的要件の概要

(1) 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等(以下「性能等」という。)の要求要件(以下「技術的要件」という。)は以下に示すとおりである。

(2) 以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

Ⅱ 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

- 1 超音波画像診断装置本体は、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 本体寸法は横幅 540mm、奥行き 790mm、高さ 1,300～1750mm 以内であること。
 - 1-2 本体重量は 120kg 以下であること
 - 1-3 観察用モニタは 21.3 インチ以上のスクエア型の高解像度液晶ディスプレイであること。
 - 1-4 装置前面に電子系プローブ接続コネクタを 4 個以上備えていること。(アクティブ 4 個、パーキング 1 個以上)
 - 1-5 走査方式は、電子セクタ走査方式、電子リニア走査方式、電子コンベックス走査方式を有すること。
 - 1-6 メニューコントロールは 10.4 インチ以上のカラーTFT 液晶タッチパネルで可能であること。
 - 1-7 エコーゼリーウォーマーを搭載していること。
 - 1-8 プリセット機能は 90 種類以上登録可能であること。
 - 1-9 スペックルノイズを低減させるノイズ除去機能を有すること。
 - 1-10 異なる角度の超音波ビームを送受信しイメージングを行うことでコントラスト分解能の向上を図る機能を有すること。
 - 1-11 High Zoom モードと通常 Pan Zoom モードの 2 種のズーム機能を有すること。High Zoom モードは選択したROI内の音線密度を上げ、高画質を実現する Zoom モードであること。
 - 1-12 探触子により、2 つの異なるサンプルポイントのドプラスペクトラムを同時に表示する機能を有すること。
 - 1-13 組織の硬さをリアルタイムに組織弾性画像として表示できるエラストグラフィ機能を有すること。
 - 1-14 画像の反転(左右・上下)表示機能が可能であること。
 - 1-15 画像調整に関するパラメータを 1 プリセットあたり 4 パターン登録可能なこと。操作中にタッチパネルで瞬時に切換え可能なこと。
 - 1-16 検査時に保存した画像はアーカイブ内に DICOM データファイルとして保存可能であること。
 - 1-17 本体の HDD に保存した画像を JPEG/BMP/TIFF/WMV/MJPEG/MP4/DICOM 形式で USB メモリ等へ書出し可能であること。
 - 1-18 本体 HDD 容量は 500GB 以上を有すること。
 - 1-19 DVI-D、USB2.0、Y/C の入出力が可能であること。カラーコンジット出力が可能であること。
 - 1-20 USB ポートを 9 系統以上有すること。
 - 1-21 DICOM 3.0 に準拠したデータ通信機能を有すること。
 - 1-22 カラードプラ使用時に白黒画像のみと白黒/カラー画像の 2 画面同時リアルタイム表示が可能であること。
 - 1-23 ドプラモードでベースラインと流速をボタン一つで調整可能であること。
 - 1-24 低音圧系コントラスト剤ソナゾイドによる造影エコーが可能であること。
 - 1-25 距離計測、面積計測、周囲長計測、体積計測機能を有すること。
 - 1-26 当院の画像ファイリングに出力可能な端子を有しており、ファイリングと接続すること。

2 電子リニア探触子は、以下の要件を満たすこと。

2-1 周波数帯域は 5MHz～13MHz であること。

2-2 視野幅は 50mm であること。

3 電子リニア探触子は、以下の要件を満たすこと。

3-1 周波数帯域は 5MHz～18MHz であること。

3-2 視野幅は 38mm であること。

4 白黒プリンタは、以下の要件を満たすこと。

4-1 階調数は、256 階調以上であること。

4-2 入力信号は、USB2.0 信号であること。

4-3 プリント用紙は、感熱紙であること。

Ⅲ その他

(機能、性能以外に関する要件)

1 機器搬入等

- 1-1 機器搬入及び据付・調整は、受注者が責任を持って行うこと。
- 1-2 調整後、装置が正常に作動するよう当センター職員が立会いの上で試運転を行うこと。
- 1-3 機器搬入の際、当センターの建物及び物品の破損には細心の注意を払うこと。

2 職員研修、技術支援

医師及び看護師が操作方法を熟知し、確実な検査体制が出来るまで受注者が責任を持って研修技術支援を行うこと。

3 保守、点検及び緊急支援体制

- 3-1 納入日から1年間は、機器の保証期間とし、正常な状態において発生した故障については、受注者の負担で保守、点検、修理を行うこと。
- 3-2 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

4 部品の供給

納入後、当該機器が製造中止になった場合でも6年間は部品の供給を行うこと。

5 設備条件

- 5-1 調達に関連し、当センターの1次側設備以外に必要な場合の電源設備、給排水設備、空調設備、通信設備は全て受注者の負担とする。
- 5-2 入札機器導入に必要な搬入・据付・調整は受注者の負担とするものとし、日常業務に支障がないように行うこと。天井及び天井内に設置する機器があれば当センター職員の指示を受け、受注者の負担にて取り付け、復旧すること。
- 5-3 また、機器の搬入・据付時に建物及び物品に損傷が起きた場合、受注者が責任をもって現状復帰すること。

6 納入期限

平成31年3月29日

7 設置場所

大阪市中心区大手前 3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

2階 乳腺・内分泌外科外来

8 その他

- 8-1 入札機器のうち医薬品医療機器等法に基づく製造承認が必要な医療機器に関して

は、入札時点で同法に定められている製造の承認を得ている物品であること。

- 8－2 装置の撤去、運搬、据付調整、検査及び職員研修にかかる諸費用はすべて受注者の負担とし、装置の運搬、設置及び据付調整は所定の位置に納入期限までに速やかに行うこと。
- 8－3 本調達物品の納品にあたり知り得た情報等の使用及び第三者への提供並びに情報等複の複写及び複製については厳に禁止する。このことは、業務終了後においても同様とする。
- 8－4 当院指定の様式にて、機器の仕様データ(商品名、製造番号など)を提出すること。